

(学校名) ブラッセル日本人学校

学校・周辺環境



【学校について】

児童生徒数：小学部248名、中学部56名
職員数：教員21名、外国語講師7名、事務6名
4月始まりの3学期制です。

本校は、周囲の住宅環境に調和した3階建て赤レンガ造りの校舎と、各種遊具、運動器具を備えた全天候用校庭をもつ。冬期の部活動を保障する夜間照明設備、スクールバス通学児童生徒の安全を確保するための駐車場スペース、学級園、観察地・池など、年ごとに学校として施設設備を整えてきた。また、平成23年度から、校舎増築が完了し、ますます学びの環境が充実している。

教育活動では、児童生徒の主体性を促すよう働きかけ、児童生徒も様々な教育活動に真剣に取り組んでいる。

運動会は、日本人学校の一大行事である。会の進行などは、中学部生徒と小学部高学年児童が担当し、円滑に運営している。保護者等、多くの人々の大声援の中で、子どもたちはこの日までの練習の成果を発揮する。

この他にも、各種行事への児童生徒の取り組みには目を見張るものがある。明るい陽光に恵まれる1学期には、サマースクール、グリーンスクールといった行事を実施している。また、小・中学部の修学旅行や各種施設の見学、現地校の児童生徒との交流会を実施している。これらは、日ごろの語学学習の実践の場であり、国際理解を深める場でもある。

1学期		2学期		3学期	
5月14日～18日	個人懇談	8月20日	2学期始業式	1月7日	3学期始業式
5月23～25日	中学校修学旅行	9月1日	運動会	1月11日	中学部卒業予餞会
5月30日～6月1日	中サマースクール	9月10日	外国語オープンクラス	2月5日・6日	外国部オープンクラス
6月6日～8日	小学校修学旅行	9月23日	マロニエ祭	2月27日	中学部卒業式
6月7日	小グリーンスクール	10月3日	マラソン大会	3月7日	小学部卒業式
6月14日・15日	小サマースクール	10月20日	合唱祭	3月8日	修了式・離任式
6月21日	エスキスデー	11月22日・23日	自由参観デー		
7月14日	土曜参観日	12月3日	サンニコラ集会		
7月17日	1学期終業式	12月3日～7日	個人懇談		
		12月21日	2学期終業式		

現地との交流活動

現地校、国際学校との交流

学校名	種別	交流の種別	交流の内容	対象者	実施状況
レイモンド・バンベル校	現地校(私立)	文化紹介・交流	会食・文字遊び・会話等の交流	小学部	2回
ルーバン大学	現地校(私立)	文化紹介・交流	会食・文字「自国の文化紹介」・会話等の交流	小学部	2回
ヨーロッパ人スクール	国際校	文化紹介・交流	スポーツ、行事等の交流	小学部 中学部	2回 2回
アテネ・モルロンウェイ校	現地校(私立)	文化紹介・交流	会食・文字・会話等の交流	中学部	1回
インターナショナルスクール	国際校	その他	スポーツ交流	中学部	3回

生活環境(ベルギーの概要)



面積 30,528km² (関東地方くらい)
時差 日本より8時間遅れ (4～10月の夏時間では-7時間)
人口 約1,132.2万人 (2017年現在)
地方別 フランドル 57%, ワロン32%, ブリュッセル 10%
言語 オランダ語, フランス語, ドイツ語(すべて公用語)
宗教 カトリック 75%
首都 ブリュッセル (約118万人)
独立 1830年10月4日(臨時政府がオランダからの独立を宣言)
1831年7月21日(初代国王の下立憲君主制始まる)
政体 立憲君主制 連邦王国
元首 フィリップ国王(第7代)
国会 二院制(上院・下院)
通貨 ユーロ(EUR, €)





【ベルギーの生活等】

(ア) インターネット

ほとんどの派遣教員は地元の電話会社(Proximus等)と契約し、WiFiモデムを購入しADSLを利用しています。月々約25～30ユーロです。また最近では、国内・日本との連絡に無料インターネット電話(スカイプ、LINE等)を利用する教員も増えています。

(イ) 携帯電話

派遣教員と家族がベルギーで契約した携帯電話を持っています。携帯電話は通話とネットワーク込みで月2000円程度です。

(ウ) 交通機関

バス・メトロ・トラム1回150円程度で、日本に比べてとても安いです。

(エ) 食料品等

日常生活に必要なものは、近くのスーパーや商店で手軽に手に入れることができます。多くの店は日曜・祭日は休業日です。平日は9時頃から20時頃まで営業しています。

応募者へのメッセージ

学校長より

学校教育目標

「世界を視野に入れ、人を大切にする児童・生徒を育成」

本年度の学校教育目標は、「世界を視野に入れ、人を大切にする児童生徒の育成」です。

世界を視野に入れるには、世界の出来事や問題を知識として身につけるだけではなく、世界という広い舞台を意識して考え、行動できる力をつけたいといけません。そのために、各学年での基礎学力を確実に身につけ、その力を基にベルギーにいるからこそ経験できる国際理解教育を通して、世界を視野に入れる力を育んでいきます。

また、世界中の一人ひとりが地球人として存在していることを理解するには、その一人ひとりを大切にする心を持たないといけません。それは、身近にいる人を理解してその人の心を大切にすることから始まります。子ども達の発達段階に応じた人間関係を通して人を大切にする心を育んでいきます。

スローガン

「地球人になろうよ！」

ヨーロッパ人による大航海時代から幕を開けたグローバリゼーションは現在も広がり続けています。そして現在私たちの社会には、国家的、地域的視野だけでなく、地球的視野に立って考えなければ解決できない問題が多く存在しています。しかし、現実には人々が地球社会を意識して考え行動することは多くなく、地球人として生きている自覚をもって生活しているとは言い難い状態にあります。世界の人々が同じ社会に属していることを意識して、地球の中に生きているという自覚をもって考え行動できる人材を育成することが大切です。

「地球人」になるためにはどうすればいいか、みんなで考え行動していきましょう。